

私たちの施設は、都からの補助や介護報酬、利用者からの利用料等によって運営されています。

<特別養護老人ホーム>

施設名	特別養護老人ホーム 小松原園	施設番号	K187
-----	----------------	------	------

年度における施設データ

総事業費（事業活動支出）	537,480,234 円
人件費	334,782,249 円
定員数	117 人
利用者数（令和6年3月31日時点）	114 人
常勤職員数（令和6年3月31日時点）	44 人
非常勤職員数（令和6年3月31日時点）	57 人

施設の収入（特別養護老人ホーム経営支援補助金の状況等）【令和5年度実績】

介護報酬	418,750,224 円
その他利用料	107,030,430 円

東京都特別養護老人ホーム経営支援補助金交付額（都独自の運営費補助）		3,238,000 円
基本 分 評 価 加 算	①施設整備等に係る経費の補助（施設振興費）	円
	②医療対応強化支援加算	円
	③努力・実績加算	2,638,000 円
	④第三者評価の受審・サービス向上に向けた計画策定	第三者評価又は利用者調査 600,000 円
	⑤その他加算（小規模施設加算等）	円

※この様式は、「東京都民間社会福祉施設サービス推進費補助金交付要綱等」の規定に基づき、利用者の皆様にお知らせするためのものです。

※事業報告書、財産目録、貸借対照表及び収支計算書は、閲覧を希望する方に公開しています。

「福祉サービス第三者評価」等を踏まえたサービス改善計画・実施状況

施設名	特別養護老人ホーム 小松原園	施設番号	K-187
-----	----------------	------	-------

項目	評価結果に基づく現状分析 (令和5年度)	改善計画 (令和5年度末時点)	実施状況(予定を含む) (令和6年4月30日時点)	左記実施状況に実施予定 があった場合の実施状況 (年4月30日時点)
組織的なコミュニケーションの見直し について	<p>特養は生活の場であるという前提と、現実には重度化が進み医療的ケアの重要度が増して病院的な対応が求められ、年間に利用者定員の1/4にあたる30件ほどの看取りが行われている。別館をホスピタリティの性格を備えた使用を模索する等、一見相反する状況の中で、利用者の入居期間が短くなっており、果たして十分なケアが行えたか疑問を感じる職員もいる。職員アンケートからも働き甲斐についての項目が芳しくないため、複雑化する将来ビジョンを現場の職員にわかりやすく伝え、理解を得る取り組みが必要である。</p>	<p>利用者様のご入居から看取りまでの段階をステージ分けし、見える化を図る。</p>	<p>1 実施済み 2 実施予定 (年 月 日ごろ) 具体的には以下のとおりです。 入居から看取りまでの各段階を4期に分け、人生のステージとして見える化を図った。</p>	<p>1 実施済み (年 月) 具体的には以下のとおりです。</p>
経営層が考えている事業の維持・向上に向けて「今何をすべきか」を中・長期計画に落とし込み、事業所として理事会へ提案すること について	<p>中長期計画が抽象的な表記にとどまっており、各部署で補足的な解釈を行い、年間計画をまとめている。そのフィードバック及び予算計画とのリンクについて明確な規定はない。 経営層が考えている事業の維持・サービス向上のために、今何をすべきか等のビジョンを明確に示し、医療と介護の更なる連携と人材確保、認知症・精神疾患・難病など多様化する利用者に対する具体的な施策の提案が必要と考えている。</p>	<p>増え続ける認知症のご利用者、その対応や受け入れのため2階フロアを「認知症強化フロア」とし、地域に貢献、経営の安定にもつなげていく。 また人材確保のため、3階と和館を1フロアとして考え、業務の効率化を図る。 いずれも2026年(2年間)を目標に形にしていく。</p>	<p>1 実施済み 2 実施予定 (令和6年6月ごろ) 具体的には以下のとおりです。 改善計画の内容を事業計画の中長期計画に追加する。それを令和6年10月の理事会で報告する。</p>	<p>1 実施済み (年 月) 具体的には以下のとおりです。</p>
BCPに基づいたシミュレーションが行われること について	<p>職員アンケートの結果から、避難訓練とBCPが混同している可能性がある。 BCPが発災後の事業継続について想定したものであり、立地条件や想定される参集人員など、その想定についてのシミュレーションを行うことが必要と考えている。</p>	<p>BCP委員会を設け、毎月1回、勉強会や議題の抽出、対応策の検討、シミュレーションなどを行い、災害に備える。</p>	<p>1 実施済み 2 実施予定 (年 月 日ごろ) 具体的には以下のとおりです。 委員会の中で、職員参集についてマニュアルを確認し、シミュレーションを行った。また、災害時の連絡手段や方法も確認した。そして、その内容を職員通路に貼り出して職員全体に周知した。</p>	<p>1 実施済み (年 月) 具体的には以下のとおりです。</p>

※この様式は、「東京都民間社会福祉施設サービス推進費補助金交付要綱」等の規定に基づき、利用者の皆様にお知らせするためのものです。

※「項目」は、第三者評価における「さらなる改善が望まれる点」などを参照に、施設が独自に決めています。

※第三者評価(又は利用者に対する調査)の結果は、施設において公表しているほか、「とうきょう福祉ナビゲーション」によりインターネットでも閲覧できます。

「福祉サービス第三者評価」等を踏まえたサービス改善計画・実施状況

施設名	特別養護老人ホーム 小松原園	施設番号	K-187
-----	----------------	------	-------

項目	評価結果に基づく現状分析 (令和4年度)	改善計画 (令和4年度末時点)	実施状況(予定を含む) (令和5年4月30日時点)	左記実施状況に実施予定があった場合の実施状況 (令和6年4月30日時点)
医療依存度の高い利用者の増加に向けて、介護職員の医療的知識の更なる向上について	当施設では、キャリアパスを踏まえ、計画的・継続的な職員の職業能力の開発に取り組んでいる。職員は施設内研修に参加する他、外部の集合研修に派遣され、介護の知識・技術習得に努め、サービスの質の向上を図っています。今後、医療依存度の高い利用者も増加することが予想されることから、施設では、介護職員の医療的な知識の向上が課題となっている。	医療研修システムを導入して全員が受講し、医療的な知識の向上が図れるようにする。	1 実施済み 2 実施予定 (令和5年5月ごろ) 具体的には以下のとおりです。 ドクターメイトによる介護職向け医療教育サービス「Dスタ(DM-study)」を導入する。	1 実施済み (令和5年5月) 具体的には以下のとおりです。 ドクターメイトによる介護職向け医療教育サービス「Dスタ(DM-study)」を導入した。
3階となごみ館の一体化について	本館(ふれあい館)3階と別館(なごみ館)1階は渡り廊下で繋がっているが、業務分担も指示系統も別になっている。同じフロアとして見直すことで人的メリットなど様々なメリットが得られると考えている。	引き続き、一体化を検討するプロジェクトを組み、毎月、改善に取り組む。	1 実施済み 2 実施予定 (令和 年 月ごろ) 具体的には以下のとおりです。 引き続き新年度についても、プロジェクトを組んで取り組んでいる。	1 実施済み (年 月) 具体的には以下のとおりです。
コロナ禍の特例期間終了後に向けて、法人・施設が目指す介護サービス再開に向けた準備について	コロナ禍による行動制限が始まって3年が経過し、感染対策で工夫をしながら取り組みを行ってきたが、行事や外出、ボランティアなど地域住民との交流にも制限がある。今後は、特例期間も終了することから、法人・施設が目指す介護サービスの再開に向けた準備が必要と考えている。	一部の行事の再開やボランティアの導入を図る。	1 実施済み 2 実施予定 (令和5年7月ごろ) 具体的には以下のとおりです。 行事の1つとして、ご逝去された方の慰霊祭を7月にご遺族、職員、法人役員で行う。	1 実施済み (令和5年7月) 具体的には以下のとおりです。 ご遺族、職員、法人役員で慰霊祭を行った。

※この様式は、「東京都民間社会福祉施設サービス推進費補助金交付要綱」等の規定に基づき、利用者の皆様にお知らせするためのものです。

※「項目」は、第三者評価における「さらなる改善が望まれる点」などを参照に、施設が独自に決めています。

※第三者評価(又は利用者に対する調査)の結果は、施設において公表しているほか、「とうきょう福祉ナビゲーション」によりインターネットでも閲覧できます。